

【全入院患者サーベイランスの目的】

院内感染対策サーベイランスの一環として、全国の200床以上の病院のうち本サーベイランスの趣旨に賛同して参加を希望した医療機関の協力を得て、院内感染対策に問題となりうる薬剤耐性菌による感染症患者の発生動向等のデータの提供を受け、患者の基礎疾患その他の背景因子、関連因子等を解析した結果を参加医療機関に還元し、また解析結果の要点を広く一般に公開することにより、全国の医療機関において実施されている院内感染対策を支援することを目的とする。

調査対象菌種としてMRSA、PRSP、メタローβラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌、多剤耐性緑膿菌、VRE、VRSA、その他危険と思われる薬剤耐性菌を選び、これらの耐性菌による感染患者情報を収集し、データの集計・解析を行い、季報・年報として要点を公表する。季報としては以下の内容を公表する。

【解説】

今回の季報（2005年10～12月）における調査参加施設数は、62施設で、調査対象となった総入院患者数は180,949名であった。そのなかで薬剤耐性菌による感染症を引き起こした患者数は11月にやや増加したが、3カ月の合計は1,079名で、前季（1,146名）より減少した。

各月毎に感染症に罹っている患者数を各月の総入院患者数で除したものをその月の感染率(%)として表し、その月に新たに感染症に罹患した患者数の割合を罹患率(%)として表した。3ヶ月間の平均感染率は5.96%、平均罹患率は4.86%で、平均感染率、平均罹患率ともに前季（感染率6.18%、罹患率4.93%）よりやや低かった。

薬剤耐性菌による感染症の85.36%はMRSA感染症であり、次いでPRSP感染症が4.91%で前季（2.44%）より増加した。多剤耐性緑膿菌による感染症は、3.24%で前期（2.53%）よりやや増加した。VRE感染症の報告はなかった。感染症の45.39%は肺炎であり、次いで手術創感染（11.73%）、菌血症（10.64%）、尿路感染症（6.95%）、消化器系感染症（5.97%）、皮膚・軟部組織感染症は（5.86%）の順であった。MRSA感染症に感染した患者の基礎疾患は、悪性腫瘍（21.28%）が最も多く、次いで循環器系疾患（18.39%）、呼吸器系疾患（10.86%）、神経系疾患（10.33%）、消化器系疾患（8.84%）、内分泌代謝疾患（7.18%）の順であった。診療科別では、内科系が44.84%、外科系が54.51%であった。

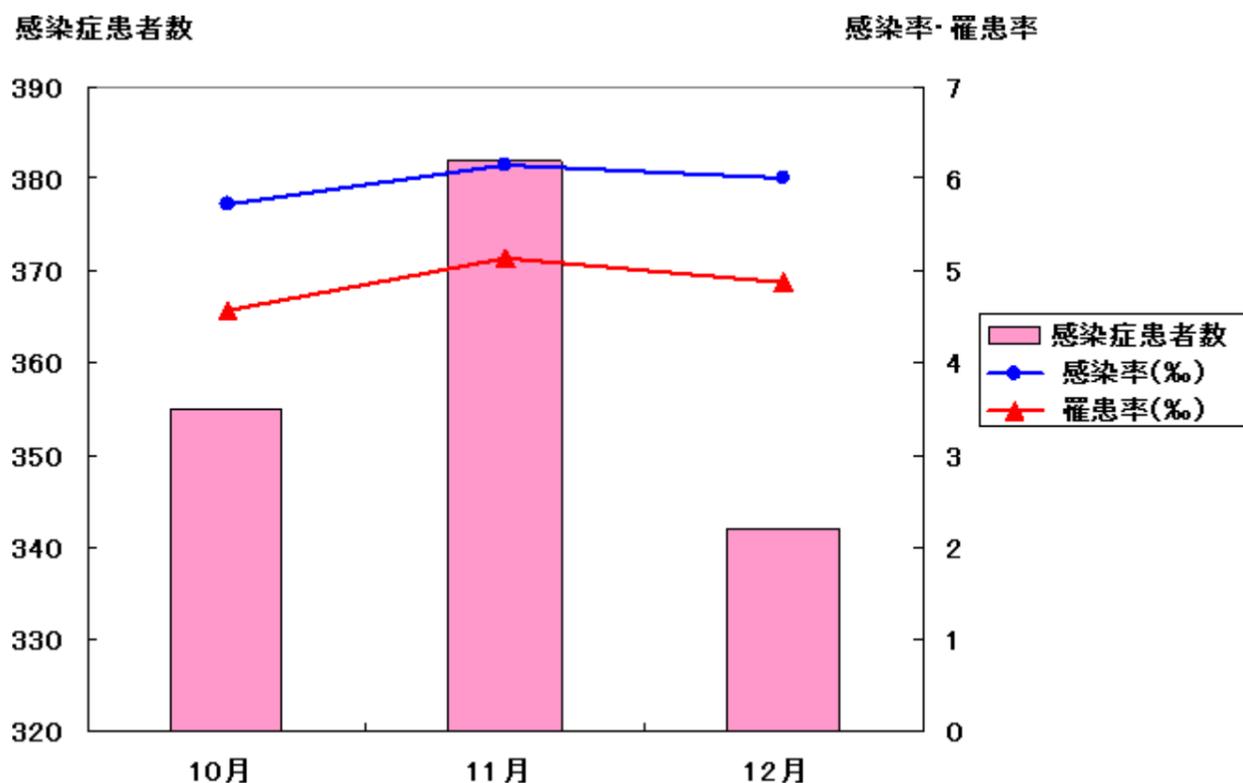
MRSA感染患者の体温分布では37.1℃以上～38.9℃未満が52.23%を占め、39.0℃以上（18.35%）を加えると37.1℃以上が70.58%であった。白血球数分布では10,001μL以上が53.96%、CRP値分布では1.1mg/dL以上～10.0mg/dL未満が41.80%、10.1mg/dL以上が43.00%であった。

- 表1. 感染率及び罹患率の推移
- 表2. 薬剤耐性菌別感染症患者数
- 表3. MRSA感染症の感染症名内訳
- 表4. MRSA感染症の基礎疾患名内訳
- 表5. MRSA感染症の診療科内訳
- 表6. MRSA感染症患者の体温分布
- 表7. MRSA感染症患者の白血球数分布
- 表8. MRSA感染症患者のCRP値分布

なお、集計不能なデータを除いたため、表によって計が異なる場合があります。

表1. 感染率及び罹患率の推移

	10月	11月	12月	計
感染症患者数	355	382	342	1,079
新規感染症患者数	283	318	278	879
総入院患者数	61,963	61,996	56,990	180,949
感染率(‰)	5.73	6.16	6.00	5.96
罹患率(‰)	4.57	5.13	4.88	4.86
参加施設数	62	62	59	



感染症患者数：調査対象とした薬剤耐性菌による感染症患者の数

総入院患者数＝前月からの繰越患者数＋新入院患者数

新規感染症患者数＝新規の感染症患者の数（＝罹患患者数）

継続感染症患者数＝先月から継続している感染症患者の数

感染率(‰)＝(感染症患者数)÷(総入院患者数)×1000

罹患率(‰)＝(新規感染症患者数)÷(総入院患者数－継続感染症患者数)×1000

注(1)：表の「計」は3ヶ月の感染症患者数、新規感染症患者数、総入院患者数を単純に加えたものです。感染率、罹患率はこれらに基づいて算出しており、3ヶ月の平均を示しています。

注(2)：参加施設数が月によって異なります。

表2. 薬剤耐性菌別感染症患者数

薬剤耐性菌名	10月	11月	12月	計
MRSA	304(85.63%)	327(85.60%)	290(84.80%)	921(85.36%)
MRSA+多剤耐性緑膿菌	6(1.69%)	4(1.05%)	4(1.17%)	14(1.30%)
多剤耐性緑膿菌	15(4.23%)	14(3.66%)	6(1.75%)	35(3.24%)
PRSP (PISPも含む)	11(3.10%)	20(5.24%)	22(6.43%)	53(4.91%)
メタβラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌	3(0.85%)	1(0.26%)	0(0.00%)	4(0.37%)
MRSA+メタβラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌	0(0.00%)	0(0.00%)	1(0.29%)	1(0.09%)
その他	16(4.51%)	16(4.19%)	19(5.56%)	51(4.73%)
感染症患者数計	355(100.00%)	382(100.00%)	342(100.00%)	1,079(100.00%)
参加施設数	62	62	59	

注：「計」は3ヶ月の薬剤耐性菌別感染症患者数を単純に加えたものです。

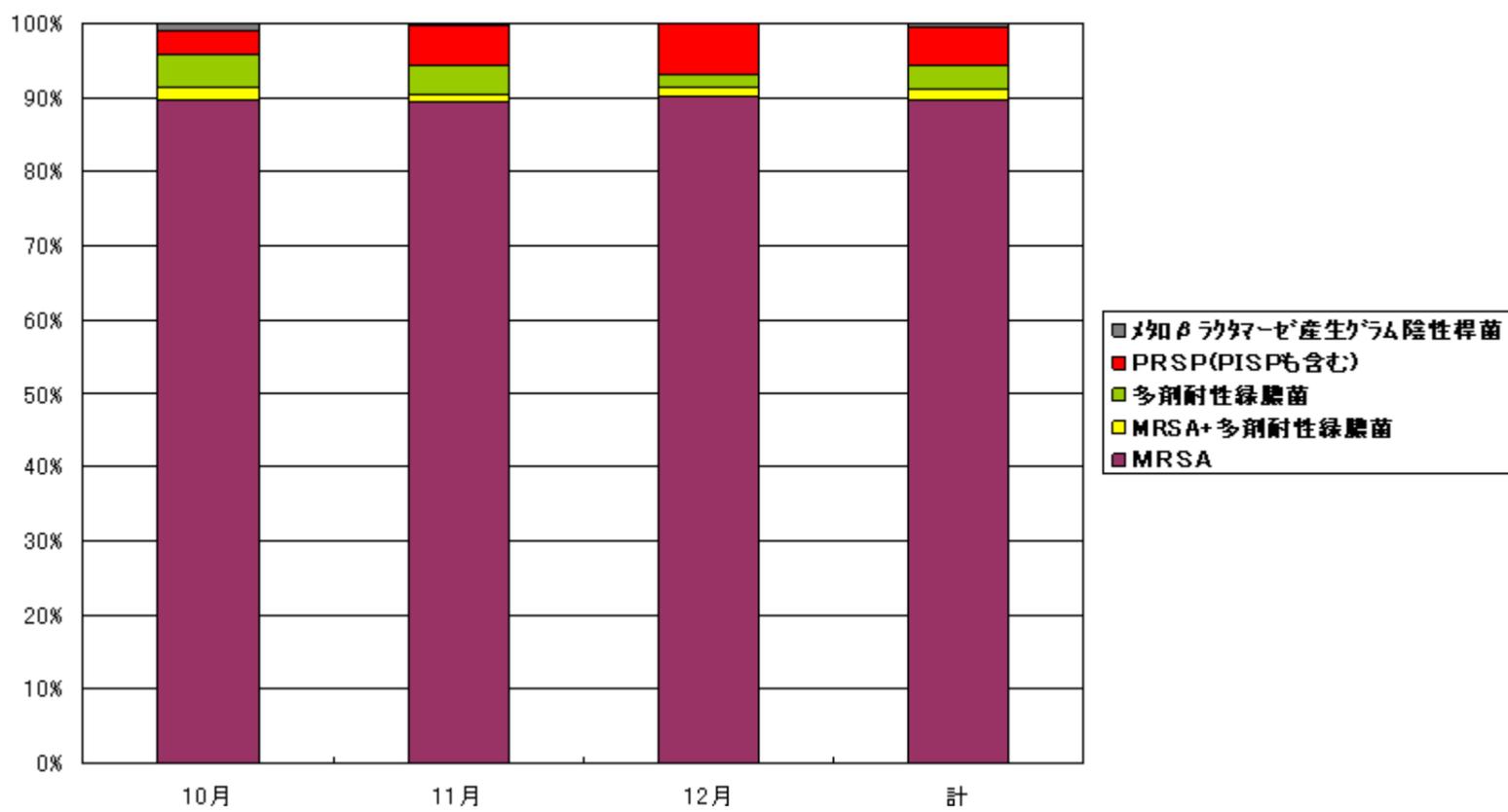
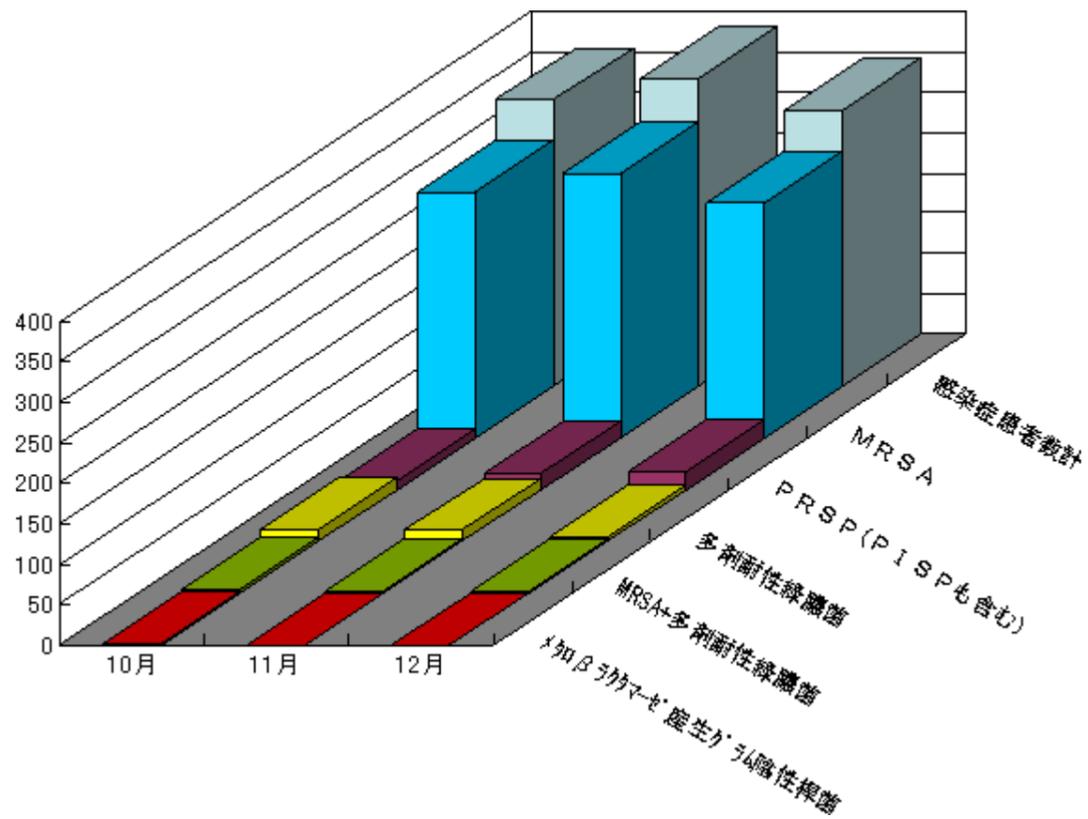


表3. MRSA感染症の感染症名内訳

感染症名	10月	11月	12月	計
尿路感染症	22 (7.24%)	21 (6.42%)	21 (7.24%)	64 (6.95%)
肺炎	126 (41.45%)	151 (46.18%)	141 (48.62%)	418 (45.39%)
肺炎以外の呼吸器感染症	13 (4.28%)	15 (4.59%)	17 (5.86%)	45 (4.89%)
消化器系感染症	20 (6.58%)	16 (4.89%)	19 (6.55%)	55 (5.97%)
中枢神経系感染症	3 (0.99%)	3 (0.92%)	0 (0.00%)	6 (0.65%)
皮膚・軟部組織感染症	19 (6.25%)	24 (7.34%)	11 (3.79%)	54 (5.86%)
手術創感染	43 (14.14%)	31 (9.48%)	34 (11.72%)	108 (11.73%)
菌血症	30 (9.87%)	39 (11.93%)	29 (10.00%)	98 (10.64%)
その他の感染症	28 (9.21%)	27 (8.26%)	18 (6.21%)	73 (7.93%)
計	304 (100.00%)	327 (100.00%)	290 (100.00%)	921 (100.00%)

注：(1) 「計」は3ヶ月のMRSA感染症の感染症名の報告数を単純に加えたものです。

(2) MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

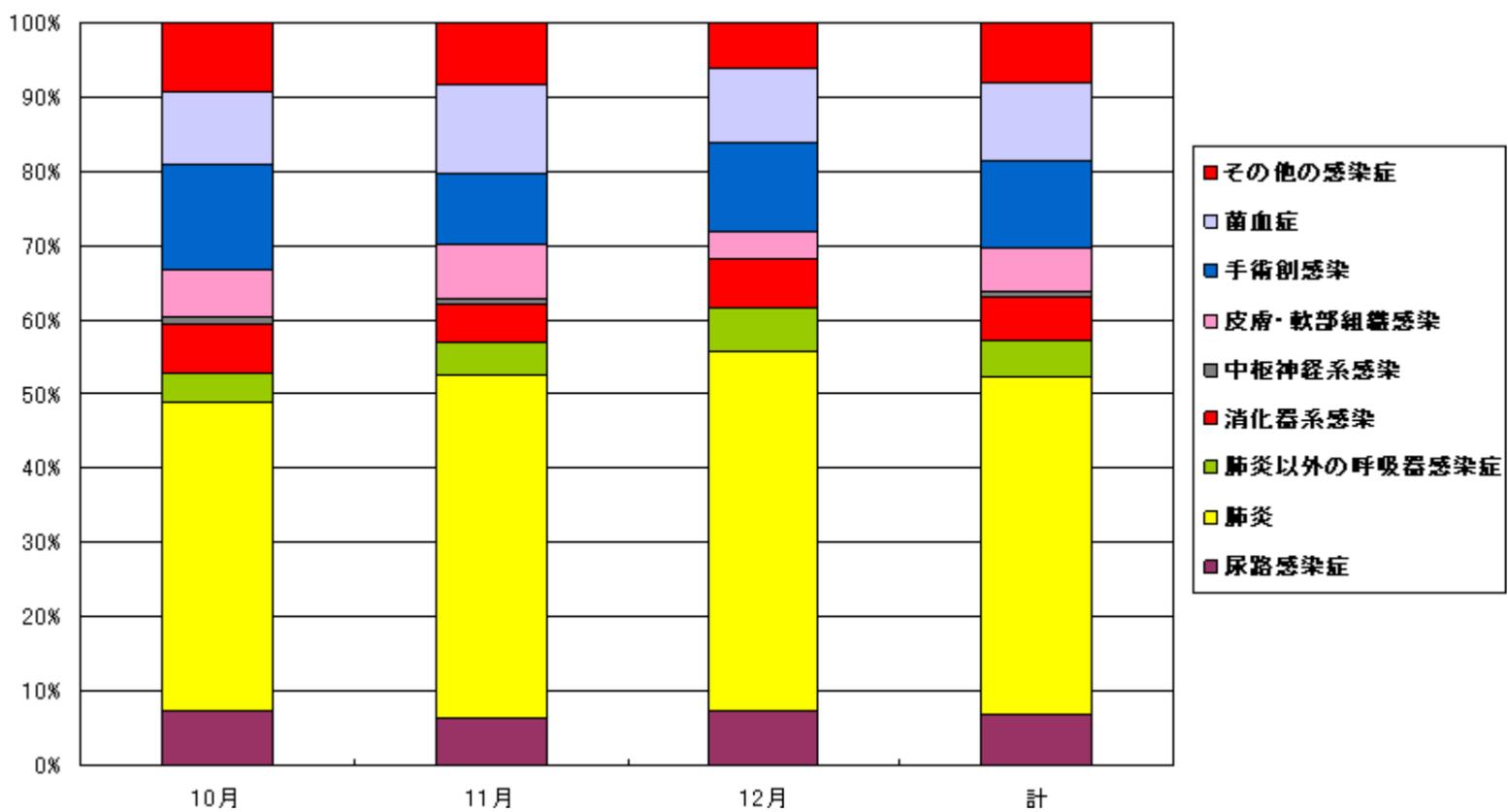
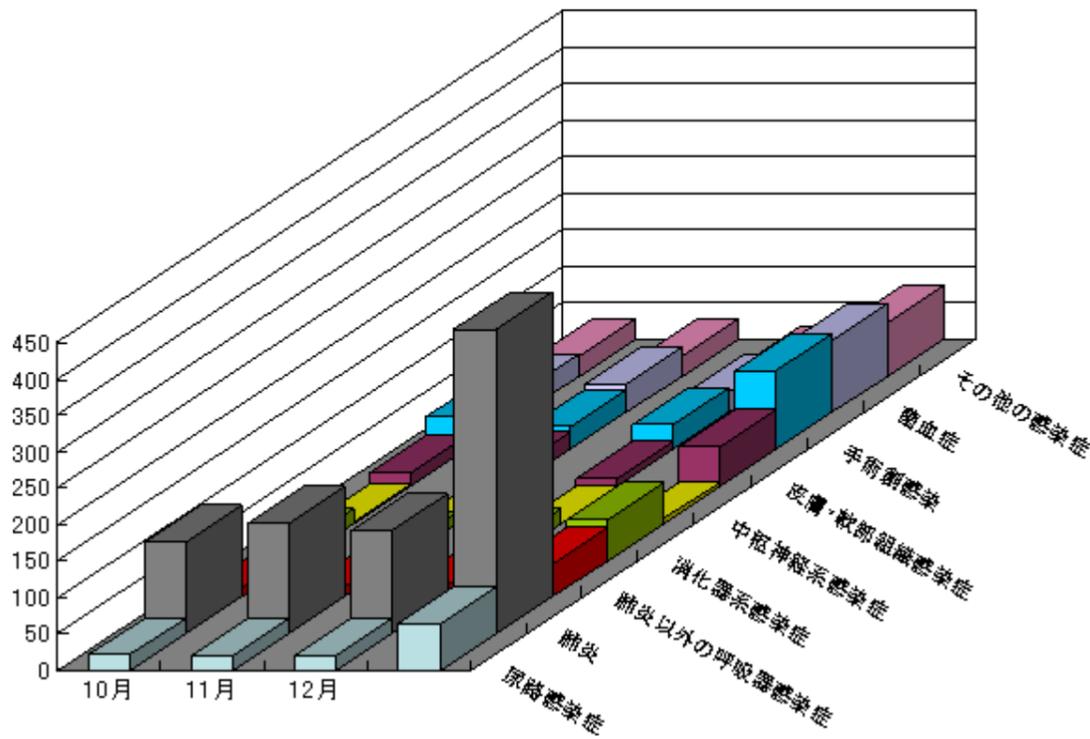


表4. MRSA感染症の基礎疾患名内訳

基礎疾患名	10月	11月	12月	計
悪性腫瘍	78 (20.91%)	98 (24.08%)	67 (18.51%)	243 (21.28%)
尿路系疾患	25 (6.07%)	27 (6.63%)	27 (7.46%)	79 (6.92%)
呼吸器系疾患	36 (9.65%)	40 (9.83%)	48 (13.26%)	124 (10.86%)
循環器系疾患	71 (19.03%)	65 (15.97%)	74 (20.44%)	210 (18.39%)
消化器系疾患	31 (8.31%)	38 (9.34%)	32 (8.84%)	101 (8.84%)
神経系疾患	40 (10.72%)	47 (11.55%)	31 (8.56%)	118 (10.33%)
精神系疾患	7 (1.88%)	8 (1.97%)	7 (1.93%)	22 (1.93%)
内分泌代謝疾患	32 (8.58%)	20 (4.91%)	30 (8.29%)	82 (7.18%)
自己免疫疾患	9 (2.41%)	11 (2.70%)	3 (0.83%)	23 (2.01%)
その他の疾患	44 (11.80%)	53 (13.02%)	43 (11.88%)	140 (12.26%)
計	373 (100.00%)	407 (100.00%)	362 (100.00%)	1,142 (100.00%)

注：(1) 1患者の基礎疾患名に重複があるために、件数は患者数より多くなっています。

注：(2) 基礎疾患名別の統計情報の収集が行われていないので、基礎疾患名別の感染率は表示できません。

注：(3) 「計」は3ヶ月のMRSA感染症の基礎疾患名の報告数を単純に加えたものです。

注：(4) MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

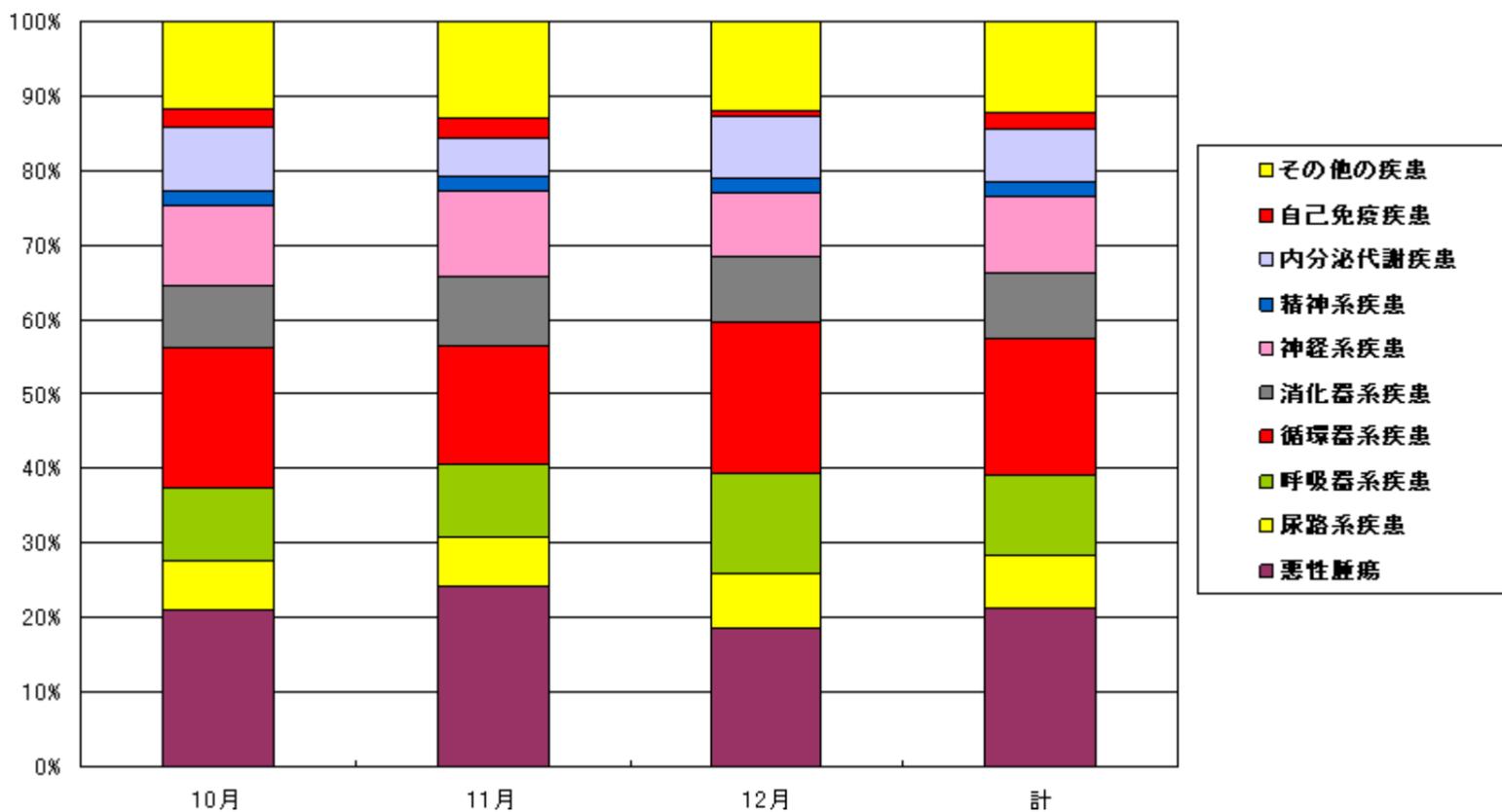
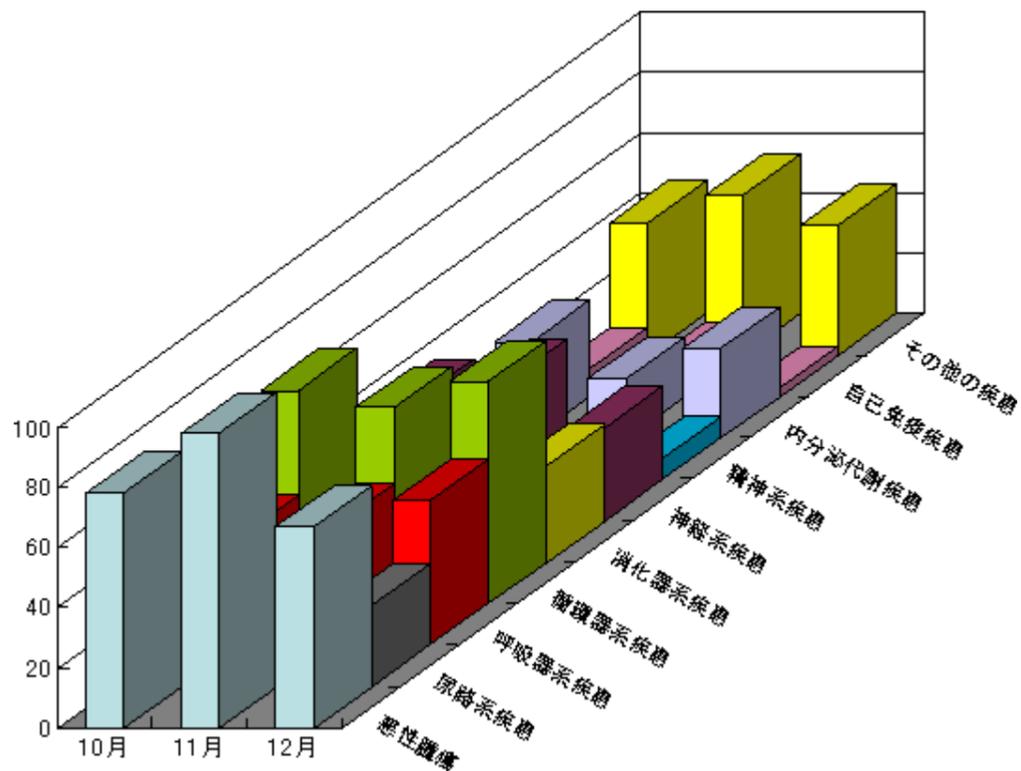
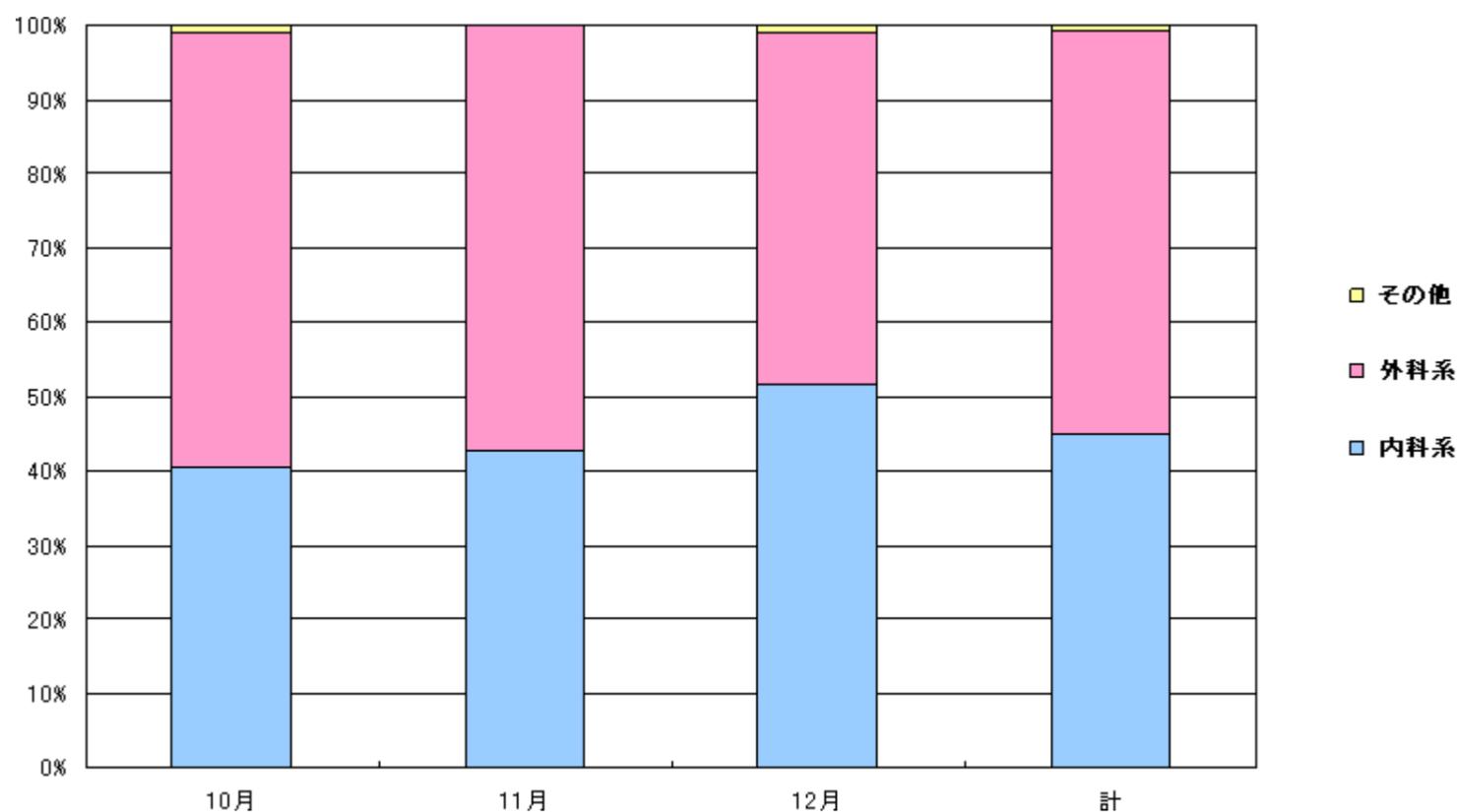
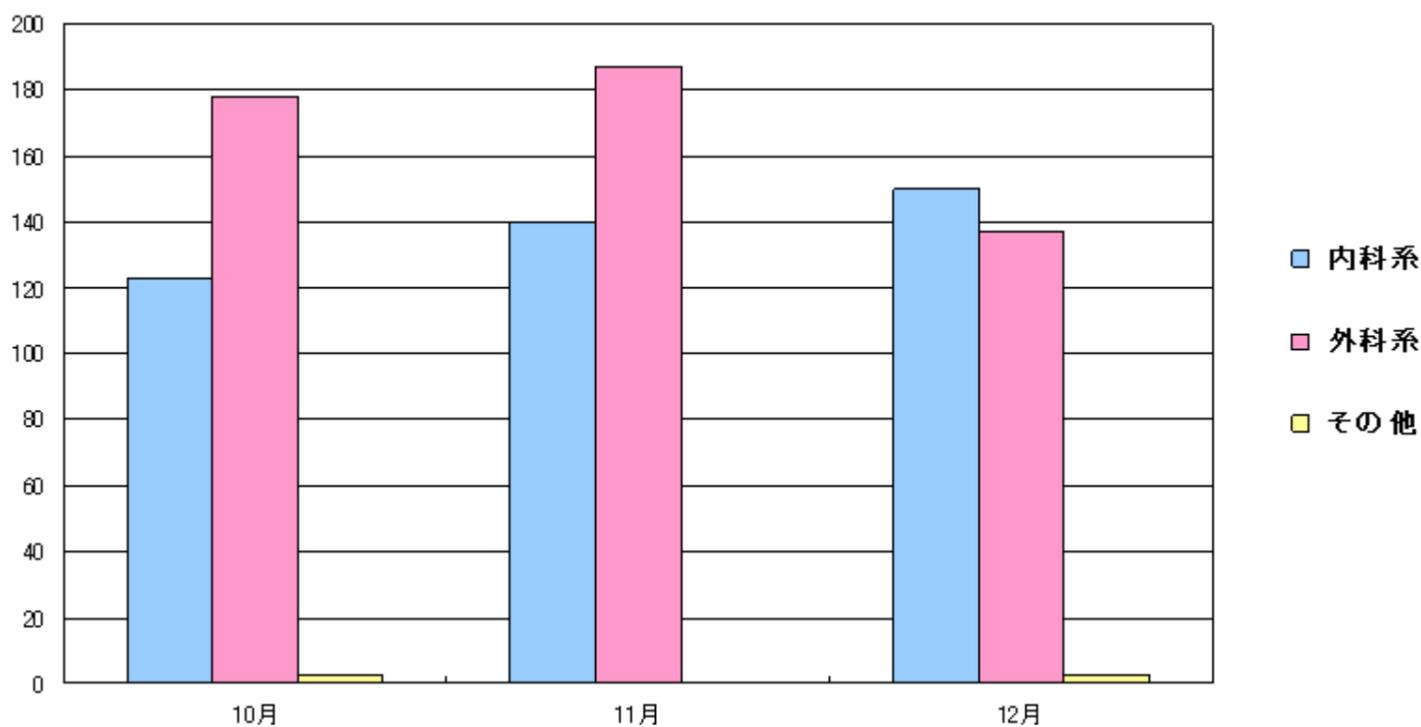


表5. MRSA感染症の診療科内訳

診療科	10月	11月	12月	計
内科系	123 (40.46%)	140 (42.81%)	150 (51.72%)	413 (44.84%)
外科系	178 (58.55%)	187 (57.19%)	137 (47.24%)	502 (54.51%)
その他	3 (0.99%)	0 (0.00%)	3 (1.03%)	6 (0.65%)
計	304 (100.00%)	327 (100.00%)	290 (100.00%)	921 (100.00%)

感染患者数



内科系: 内科、循環器科、神経内科、呼吸器科、消化器科、小児科、心療内科、神経科、精神科、放射線科、麻酔科、リウマチ科、胃腸科、アレルギー科

外科系: 外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、産婦人科、産科、婦人科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、皮膚泌尿器科、脳神経外科、形成外科、歯科、歯科口腔外科、小児歯科、矯正歯科、気管食道科、美容外科、肛門科

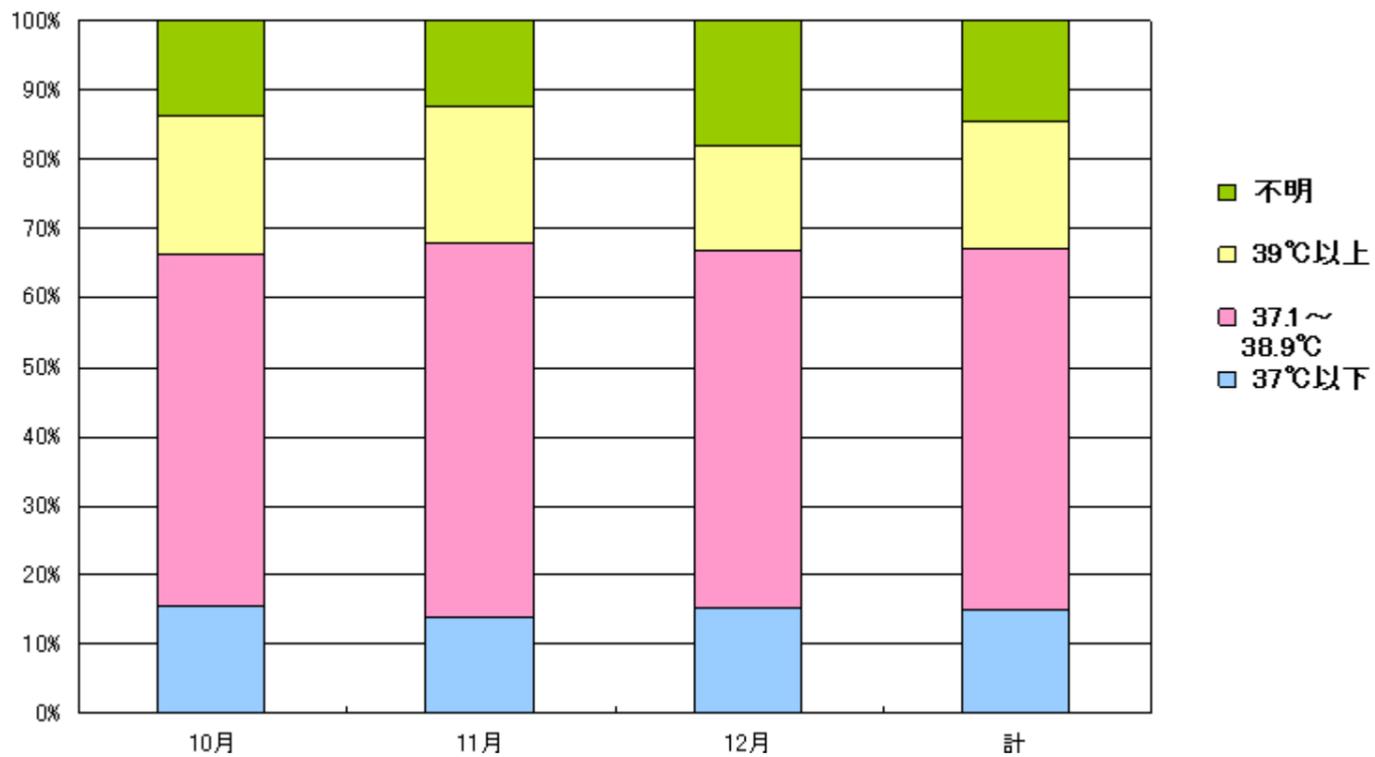
その他: 性病科、リハビリテーション科、その他

注:(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の診療科名の報告数を単純に加えたものです。

注:(2) MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

表6. MRSA感染症患者の体温分布

体温	10月	11月	12月	計
37℃以下	47 (15.46%)	46 (14.07%)	44 (15.17%)	137 (14.88%)
37.1～38.9℃	155 (50.99%)	176 (53.82%)	150 (51.72%)	481 (52.23%)
39℃以上	60 (19.74%)	65 (19.88%)	44 (15.17%)	169 (18.35%)
不明	42 (13.82%)	40 (12.23%)	52 (17.93%)	134 (14.55%)
計	304 (100.00%)	327 (100.00%)	290 (100.00%)	921 (100.00%)



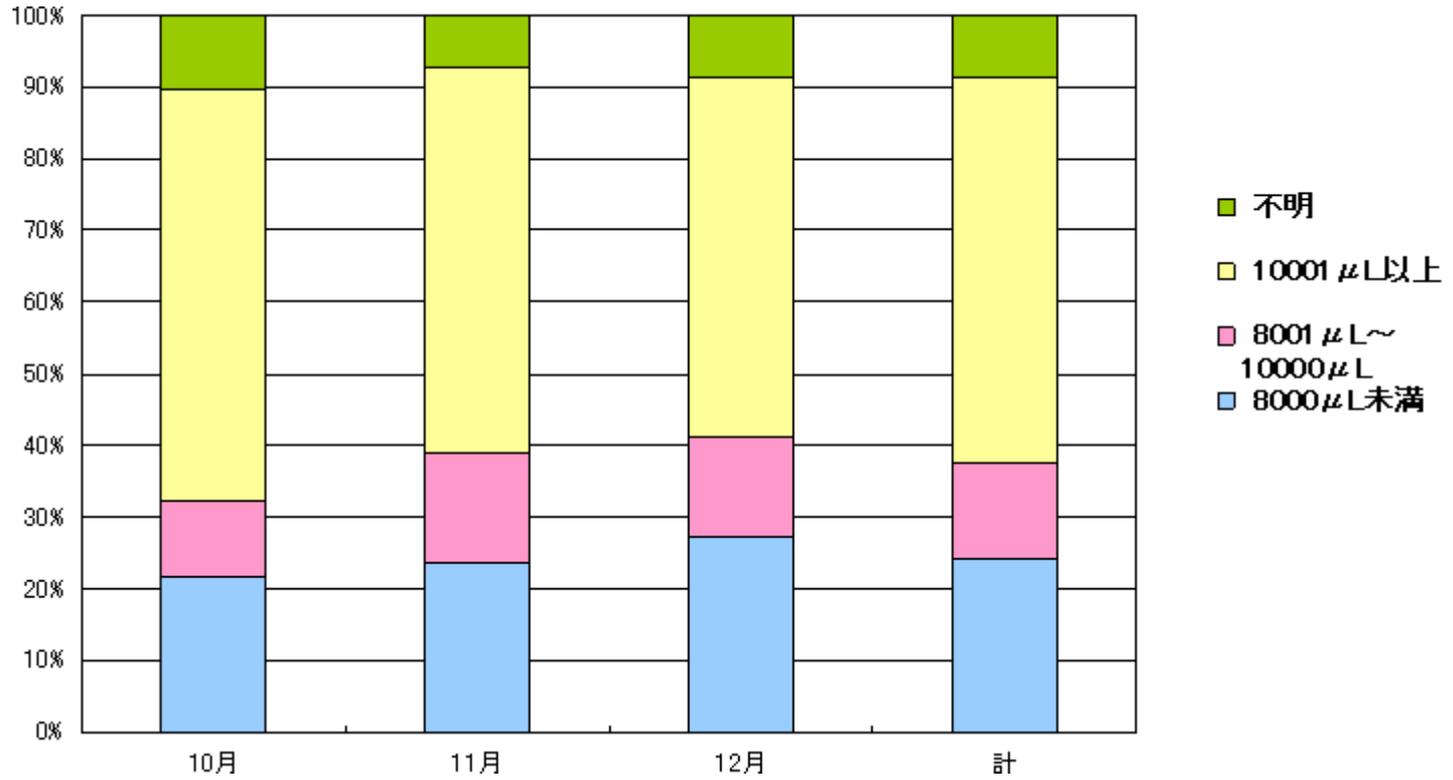
注:(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の体温の報告数を単純に加えたものです。

注:(2) MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

表7. MRSA感染症患者の白血球数分布

白血球数	10月	11月	12月	計
8000 μ L未満	66 (21.71%)	77 (23.55%)	79 (27.24%)	222 (24.10%)
8001 μ L～10000 μ L	32 (10.53%)	50 (15.29%)	40 (13.79%)	122 (13.25%)
10001 μ L以上	175 (57.57%)	176 (53.82%)	146 (50.34%)	497 (53.96%)
不明	31 (10.20%)	24 (7.34%)	25 (8.62%)	80 (8.69%)
計	304 (100.00%)	327 (100.00%)	290 (100.00%)	921 (100.00%)

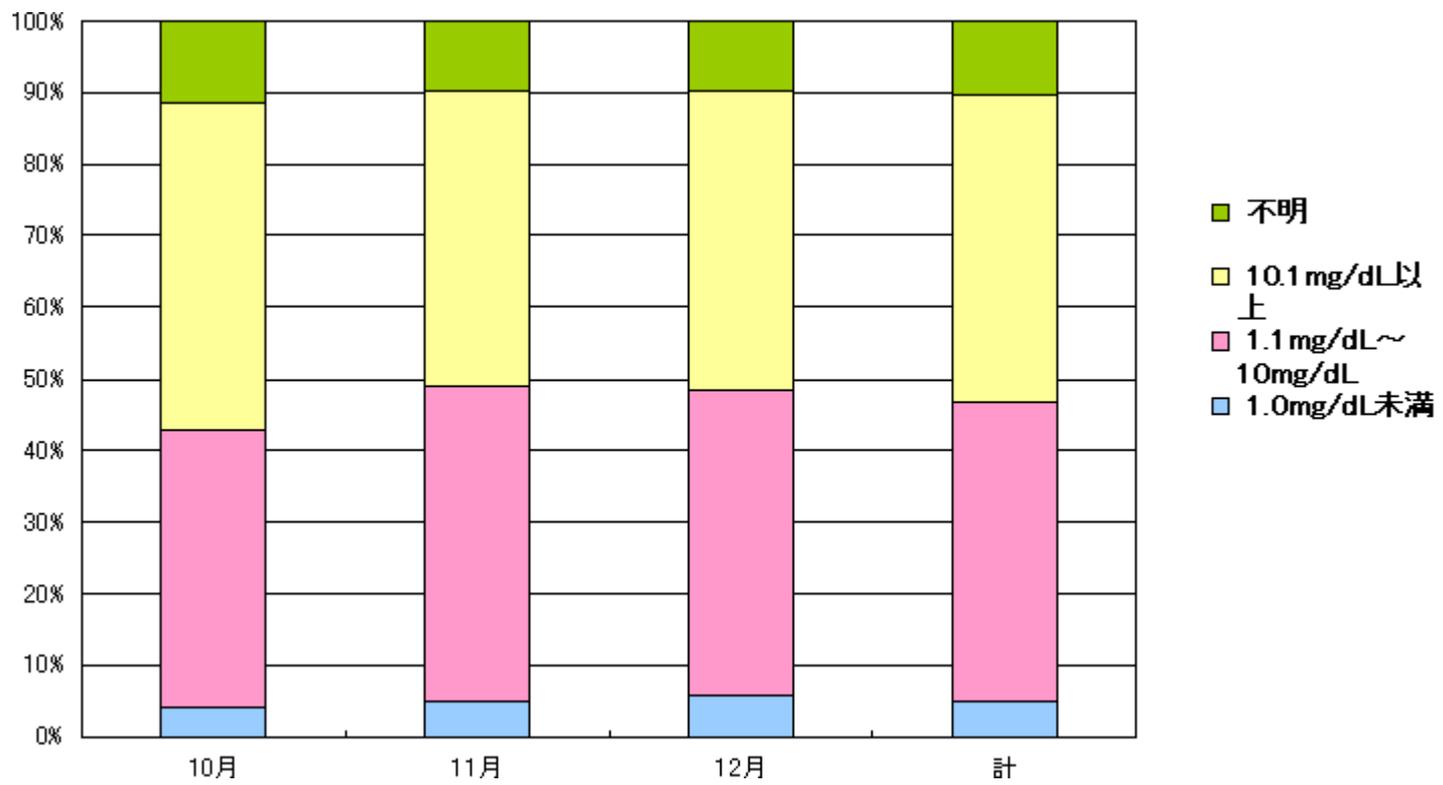


注：(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の白血球の報告数を単純に加えたものです。

注：(2) MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロ β ラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いてます。

表8. MRSA感染症患者のCRP値分布

CRP値	10月	11月	12月	計
1.0mg/dL未満	12 (3.95%)	16 (4.89%)	17 (5.86%)	45 (4.89%)
1.1mg/dL～10mg/dL	118 (38.82%)	144 (44.04%)	123 (42.41%)	385 (41.80%)
10.1mg/dL以上	139 (45.72%)	135 (41.28%)	122 (42.07%)	396 (43.00%)
不明	35 (11.51%)	32 (9.79%)	28 (9.66%)	95 (10.31%)
計	304 (100.00%)	327 (100.00%)	290 (100.00%)	921 (100.00%)



注：(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症のCRP値の報告数を単純に加えたものです。

注：(2) MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。